

庄原市の派遣職員がかかわった
公園復旧工事



復旧前



復旧後

○庄原市独自の派遣支援
○宮城県東松島市の要請に基づく派遣

業務内容
避難所住民の健康管理など
人数 保健師各1人

そのほか、市が備蓄する物資、市民から提供いただいた支援物資などの搬送も行っています。

職員派遣
○被災県から広島県への要請に基づく派遣
期間 平成23年5月10日～16日6月19日～25日
派遣先 宮城県気仙沼市
業務内容
避難所住民の健康管理など
人数 保健師各1人

●宮城県東松島市の要請に基づく派遣（長期派遣）
平成23年8月1日～平成25年3月31日
人数 建築・土木技術職延べ14人
※建築技術職1人が1カ月、土木技術職1人が2カ月のサイクルで派遣。

遣（短期派遣）
期間 平成23年4月25日～9月16日
内容
事務職員：生活支援、被災証明などの相談、事務処理業務など
技術職員：下水道の災害査定用の設計書作成業務など
人数 延べ30人
※事務職、技術職それぞれ2人が2週間のサイクルで派遣。

義援金に関する支援
○市民からの義援金
1207件
1億533万3200円
※義援金は日本赤十字社を通じて被災地へ送金。

庄原市の支援状況（1月末現在）

大震災直後の状況

津波により港から住宅地を抜け運河まで流された船（写真提供：宮城県東松島市）



岩手県

宮城県

東日本大震災から2年

危機管理課危機管理係

0824-73-1206

仙台市

■東松島市

宮城県東松島市は人口40,470人（平成25年1月1日現在）と、庄原市とほぼ同じ規模。面積は庄原市の約12分の1の101.80平方キロメートル。市の花は庄原市と同じ「さくら」です。

3月11日、東日本大震災から丸2年となります。

被災地では、復旧が思うように進んでおらず、今もなお多くの方が避難生活を余儀なくされています。

市はこれまで、被災地へ義援金や物資の輸送のほか、職員派遣による支援を行ってきました。

被災地の現状を、派遣された職員の声を交えてお伝えします。

東松島市に派遣された2人の職員に話を聞きました。



下水道課下水道係
後藤秀秋 主任技師
派遣期間：
平成24年12月～平成25年1月

少しでも被災地の力になりたい

平成22年7月に庄原市で起きたゲリラ豪雨災害では、東松島市からも支援をいただいていたこともあり、被災地のために何らかの貢献がしたいとの思いがありました。

住民の方は、復興がなかなか進まないことへのいら立ちと、震災報道がされなくなり忘れ去られたのではないかという思いを強く持たれています。

東松島市では2カ月間という短い期間で、何もできず役に立てなかったという思いが強いです。機会があれば、もう一度派遣を希望し、少しでも被災地の力になりたいと思っています。



建設課第一土木係
長谷明秀 主任技師
派遣期間：
平成23年7月、平成24年8月～9月

復興にはまだまだ時間が必要

震災から4カ月後に3週間の派遣で訪れましたが、当時は町の至るところにガレキが山積、震災のつめ跡の大きさに強い衝撃を受け、言葉では言い表せない状況でした。私は下水道の復旧に携わり、主に国の災害査定設計書の作成を担当しましたが、復興への道筋が見えない中での業務だったことを覚えています。

昨年8月から2カ月間、2度目の派遣で訪れましたが、田畑にあったガレキも撤去され、着実に復興が進んでいると感じました。しかし、すべてが復興するまでには、まだまだ時間がかかると感じます。